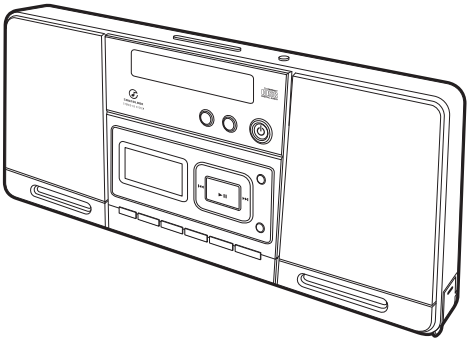
SOUNDLOOK

家庭用

ステレオCDシステム

SDI-1200

取扱説明書（保証書別途添付）



このたびはサウンドルックステレオCDシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。なお、お読みになられたあとも、保証書とともにお使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。

目　次

- 安全上のご注意・・・・・・・1〜3
- お使いになる前に・・・・・・・・4
- 各部のなまえ・・・・・・・・5〜6
- 設置のしかた・・・・・・・・7〜8
- CDを聴くには・・・・・・・・・9
  - プログラム演奏・・・・・・・・10
  - リピート/ランダム演奏・・・・・10
- iPod/iPhoneに取り込んだ音楽データを再生するには・・・・・・・・・・・・・11〜12
- ラジオを聴くには・・・・・・・13
  - プリセットの使いかた・・・・・13
- 外部機器の音を聴くには・・・・14
- 時計の合わせかた・・・・・・・14
- アラームの使いかた・・・15〜16
  - スヌーズ機能について・・・・・16
- スリープ機能について・・・・・17
- イコライザー機能について・・・17
- ディスプレイバックライトについて・17
- お手入れのしかた・・・・・・・17
- 故障かな？と思われたときは・・18
- 仕様・・・・・・・・・・・・・18
- アフターサービスについて・・・19

小泉成器株式会社

安全上のご注意

＊ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

＊ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの
⚠ 注意	誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり、物的損害の可能性があるもの

絵表示例と絵表示の意味

⃠ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※お読みになられた後は、お使いになる方がいつも見られるところに必ず保管してください。

⚠ 警告

煙や異臭、異音が出たり、落下や破損したときはコンセントからACアダプターを抜く

そのまま使用すると、事故の原因になります。
必ず使用を中止し、販売店に修理をご依頼ください。

機器内部に異物や水などが入った場合は、本体のスイッチを切り、コンセントからACアダプターを抜く

そのまま使用すると、事故の原因になります。
必ず販売店にご相談ください。

機器内部に金属物や燃えやすいものを入れない

事故や故障の原因になります。

電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）使用しない

火災・感電の原因となります。

風呂場では使用しない

火災・感電の原因となります。

表示された電源電圧（交流100V）以外の電圧で使用しない

火災・感電の原因となります。

⚠警告

本体の通風孔、ＣＤの挿入口などから金属類や燃えやすいものなどを差し込んだりしない

お子様のいるご家庭ではご注意ください。

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない

コードが破損して火災･感電の原因となります。

電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本体の下敷きにならないようにする

コードに傷がついて、火災･感電の原因となります。
コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重いものをのせてしまうことがあります。

万一、この機器を落としたり、破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、ACアダプターをコンセントから抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

雷が鳴ったら、ACアダプターを抜く

落雷や誘電雷により感電･やけど･機器の焼損の原因となります。
使用しているときはすぐに機器から離れてください。

濡れた手でACアダプターを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

改造はしない
修理技術者以外の人は分解したり修理をしない

事故やケガの原因となります。修理はお買い上げの販売店または「サービスセンター」にご相談ください。

⚠注意

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない

落ちたり、倒れたりしてケガの原因となることがあります。

油煙や湯気が当たるような場所に置かない

火災･感電の原因となることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

機器の変形･変質･火災･故障の原因となることがあります。直射日光の当たる高温の自動車内には置かないでください。

電源コードを熱器具に近付けない

コードの被ふくが溶けて、火災･感電の原因となることがあります。

⚠注意

湿気やほこりの多い場所に置かない
火災･感電の原因となることがあります。

レーザー光線をのぞき込まない（ＣＤ部）
レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

指定以外の乾電池は使用しないまた新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない
乾電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

乾電池は加熱したり、分解したり、火や水の中に入れない
乾電池の破損・液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。

テレビ、オーディオ機器スピーカ等の接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する

はじめから音量を上げすぎない
突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。特にヘッドホンをご使用になるときは注意してください。

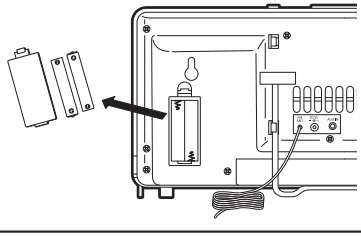
旅行などで長期間、ご使用にならないときは必ずACアダプターをコンセントから抜いておく
火災の原因となることがあります。

お手入れの際は安全のためACアダプターをコンセントから抜いて行う
感電の原因となることがあります。

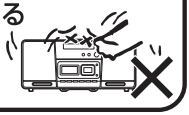
ACアダプターを抜くときは電源コード引っ張らない
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ずACアダプターをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行う
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

長時間使用しないときはバックアップ用乾電池を取り出しておく
電池の液もれで回路がショートし、火災･ケガ･汚損の原因となることがあります。

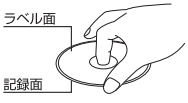


幼児がＣＤ挿入口に、手を入れないように注意する
ケガの原因となることがあります。



お使いになる前に

CDについて



※記録面に触れないように、
CDの端を持ってください。

※CDに指紋や汚れが付いたときは、
やわらかい布などで、中心から端へと
ふき取ってください。

※再生面やラベル面に、紙やテープなどを
貼らないでください。
またラベルがはがれたCDは使用しないで
ください。

※ひびやそりのあるディスクは
絶対に使わないでください。

※ハート型など特殊形状のCDは
使用しないでください。
機器の故障の原因となります。

※CD-R/RWに記録されたCDは、再生できない場合があります。
※コピーガード付きのCDは、再生できない場合があります。

使用・保管場所について

次のような場所では使用･保管しないでください。

- 直射日光を浴びる場所や暖房器具のそば
- ちりやほこりなどの多い場所
- 風呂場など湿気が多い場所
- テレビやチューナーなどのそばでCDプレーヤーを演奏すると、雑音や画像の乱れが起こる場合があります。できるだけ離すか、同時使用を避けてください。
- CDプレーヤーのレンズにほこりがつかないように、使用しないときはCDドアを閉めておいてください。また、レンズにさわらないようにしてください。

結露について

- CDプレーヤーのレンズが結露したり、水滴がついたままになっていると正しく演奏できない場合があります。
- 暖房直後の部屋、湯気や湿気の多いところ、寒い場所から急にあたたかいところに移動したときなどは、電源を入れ1～2時間たってから使うようにしてください。

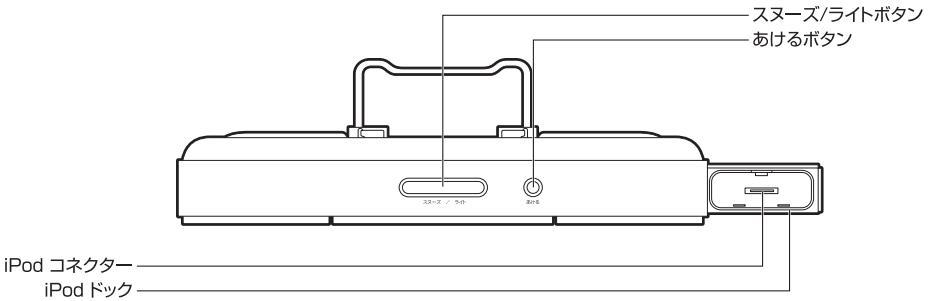
お願い

- キャッシュカードや定期券などの磁気カード類、録音テープ、時計などを近付けないでください。
- 本体の分解改造は絶対にしないでください。
- 温度が低い環境で操作されますと、まれにCDドアの開閉動作が遅くスムーズでない場合があります。その場合は、あたたかい場所に移動し、しばらくしてから使うようにしてください。

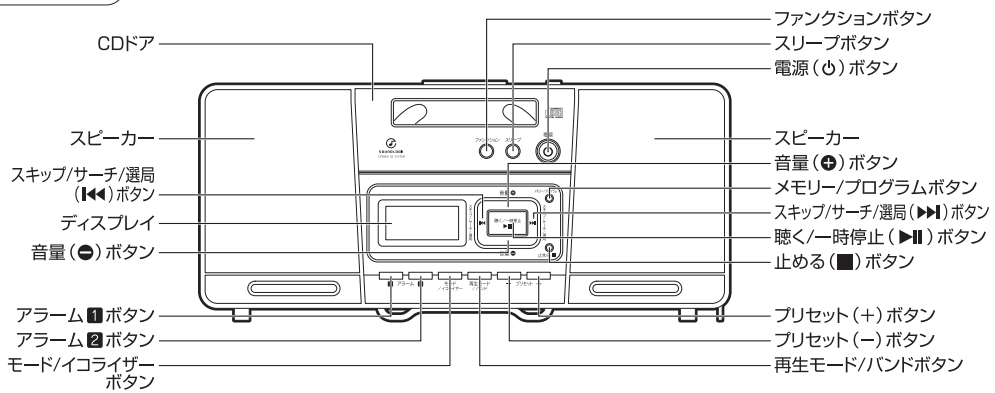
万一故障した場合はお買上の販売店にご相談ください。

各部のなまえ

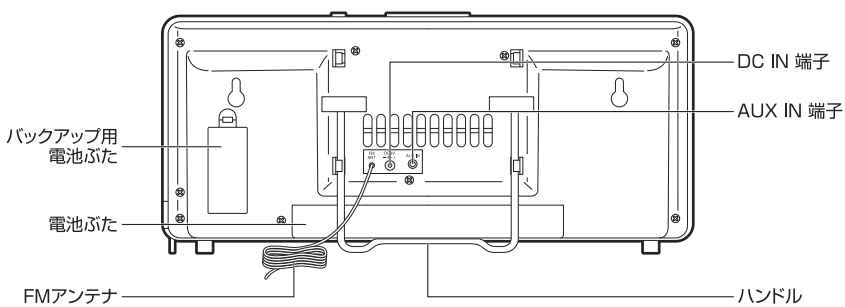
上面



正面



背面

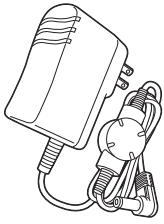


付属品

※以下の付属品が同梱されていることを確認してください。

取扱説明書×1

保証書×1



ACアダプター×1
(型番：SAD-9014)

バックアップ電池について

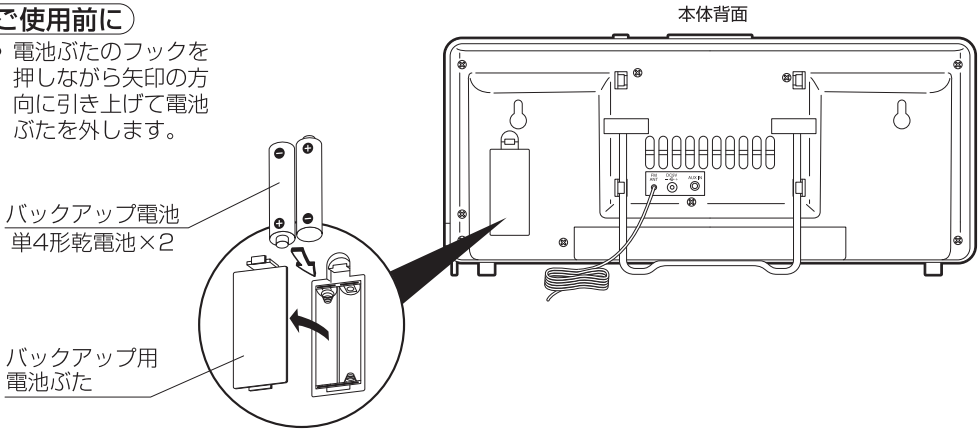
停電時や乾電池切れの時に、ボタンで設定した時計機能等を一時的に記憶しておくための電池です。

ご注意

本機はバックアップ電池がなくても動作しますが、停電時やACアダプターを抜くと、時計機能等を維持しません。

ご使用前に

- 電池ぶたのフックを押しながら矢印の方向に引き上げて電池ぶたを外します。



設置のしかた

乾電池で使うには

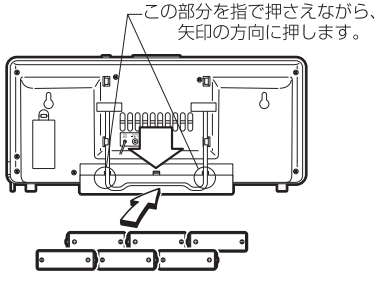
単３形アルカリ乾電池６本(別売)を極性(＋、－)を間違えないように入れてください。

- 乾電池の取替え時期は
  ＣＤやテープを正常に演奏しなくなったり、
  雑音が多くなったときは乾電池の取替え時期です。
  新しい乾電池と取り替えてください。

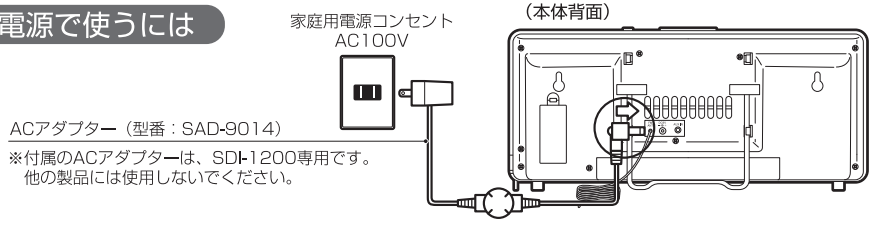
ご注意

乾電池の破損・液もれ防止のために次のことはお守りください。

- 長時間使用しないときや、いつも家庭用コンセントで使用するときは、乾電池を取り出しておいてください。
- 新しい乾電池と古い乾電池、異なった種類は混ぜないでください。
- ⊕プラスと⊖マイナスは正しく入れてください。
- 火の中への投入や、ショート、分解、加熱などはしないでください。



家庭用電源で使うには



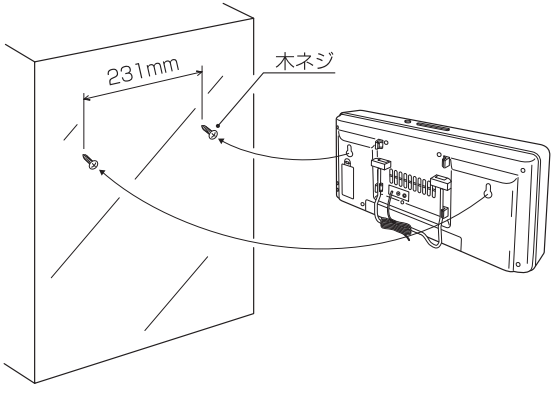
※付属のACアダプターは、SDI-1200専用です。
他の製品には使用しないでください。

壁への取り付けかた

柱または桟のある場所に、市販の木ネジ(φ5×50mm)で取り付け、本体背面の穴をしっかりとはめ込みます。

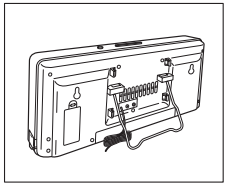
ご注意

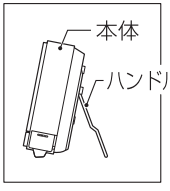
壁掛け用のネジは壁の厚さが10mm以上の板、もしくは桟のある場所に取り付けてください。
土壁、繊維壁には直接掛けないでください。
使用中に落下するおそれがあります。

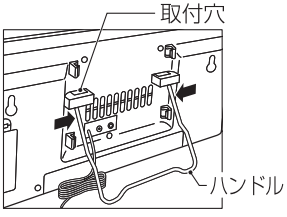


ハンドルの使いかた

卓上用

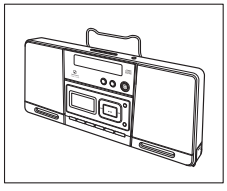


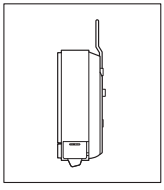


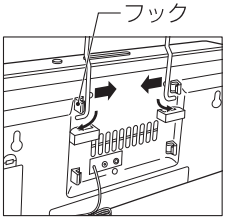


矢印の方向にハンドルを押し、下に引くと取付穴から取りはずせます。
再度取付ける時はハンドルの方向に注意してください。

持ち運び用



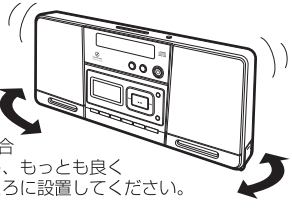




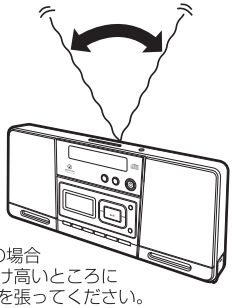
フックにハンドルがかかるように、ハンドルを内側へ押さえながら取付穴に差し込みます。(ハンドルの方向に注意してください。)正しくセットしないと落下や転倒の原因となります。

設置場所について

- ラジオをきれいな音でお楽しみになるには、なるべく窓ぎわの電波の届きやすいところに置いてご使用ください。



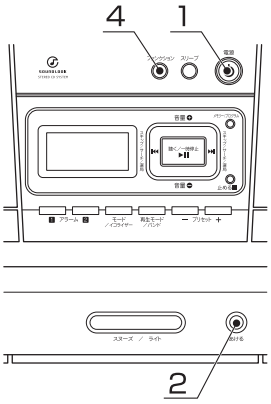
AM放送の場合
本体を動かし、もっとも良く聞こえるところに設置してください。



FM放送の場合
できるだけ高いところにアンテナを張ってください。

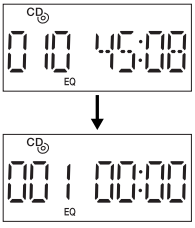
CDを聴くには

1	「電源」ボタンを押す。
2	「あける」ボタンを押しCDドアを開け、CDのラベル面が手前にくるようにしてセットする。
3	CDドアを閉じる
4	「ファンクション」ボタンを押してCDモードに切り換える。 ・CDモード時は“ CD ”がディスプレイに表示されます。 ・総曲数と総演奏時間が表示された後、1曲目から自動的に演奏が始まります。 ・CDを入れずに放置しておくと、ディスプレイに“ NO DISC ”と表示されます。



- 演奏を止めるには「止める(■)」ボタンを押します。
- 一時的に停止させたいときは「聴く/一時停止(▶II)」ボタンを押します。もう一度押すと演奏に戻ります。
- 演奏停止後、無操作の状態で約1分間経過すると、自動的に電源が切れます。

《ディスプレイ》



曲の頭を探す(スキップ)

- **CD演奏中に「スキップ/サーチ/選局(⏮)(⏭)」ボタンを押すと、前後の曲の頭出しができます。**
  「⏮」·····演奏中の曲の頭に戻る。
  (2回目以降は押すたびに前の曲の頭に戻る)
  「⏭」·····次の曲の頭に進む。

- **演奏していない、または一時停止中に曲を探す。**
  「スキップ/サーチ/選局(⏮)(⏭)」ボタンを押す。

  1回押すごとにそれぞれ曲の頭に移動します。
  聴きたい曲の番号を選んだら、
  「聴く/一時停止(▶II)」ボタンを押して演奏を始めます。

早送り・早戻しをするには

- **早送り**
  演奏中に「スキップ/サーチ/選局(⏭)」ボタンを押し続けると、その間早送りします。
- **早戻し**
  演奏中に「スキップ/サーチ/選局(⏮)」ボタンを押し続けると、その間早戻しします。
- ボタンから指を離すと通常の演奏に戻ります。

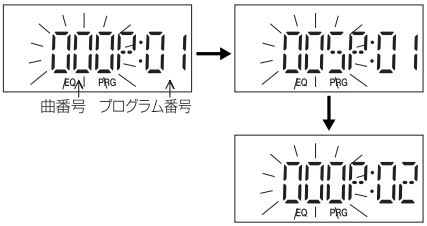
ご注意

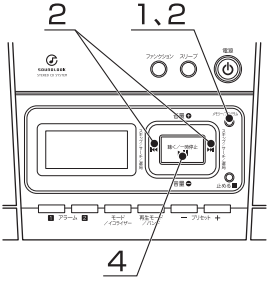
- 本機は、CD-R/RW録音機器で作成した音楽用CD-R/RWディスクの再生も可能です。ただし、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。
- CD-R/RWを入れた場合、演奏できる状態になるまで15秒前後かかります。
- コピーガード付のCDは再生できない場合があります。
- 直接音楽ファイルを記録したディスク(MP3ディスク、WMAディスク等)は再生できません。

プログラム演奏

1	演奏停止状態で「メモリー/プログラム」ボタンを押す。 曲番号が点滅し、"PRG"とプログラム番号が点灯します。
2	「スキップ/サーチ/選局(⏮)(⏭)」ボタンでお好みの曲を選び、「メモリー/プログラム」ボタンを押す。 曲番号が点滅し、"PRG"とプログラム番号が点灯します。
3	上記の操作を繰り返して順に曲を選ぶ。 20曲までプログラムできます。
4	「聴く/一時停止(⏯)」ボタンを押す。 プログラム順に演奏します。

《ディスプレイ》





- プログラム演奏を終了するには「止める(■)」ボタンを押します。
- プログラム設定は演奏停止状態でのみ可能です。
- プログラムを解除するには、以下の操作のいずれかを行ってください。
  - 「止める(■)」ボタンを2回押す。
  - 電源を切る。
  - CDドアを開ける。
  - 「ファンクション」ボタンで他の操作(ラジオ/iPod/AUX)に切り換える。
- プログラムを解除すると、総曲数と総演奏時間が表示されます。

リピート/ランダム演奏

「再生モード/バンド」ボタンを押すごとに演奏機能が変わります。

1 1曲繰り返し → 2 全曲繰り返し → 3 ランダム演奏 → 4 通常演奏

押すたびに変わります

《ディスプレイ》

1曲繰り返し

お好みの1曲を繰り返し演奏します。
" 🔁 " が表示されます。

●CD演奏中でも操作できます。

全曲繰り返し

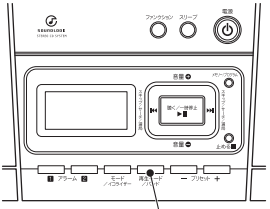
全曲を繰り返し演奏します。
" ALL " が表示されます。

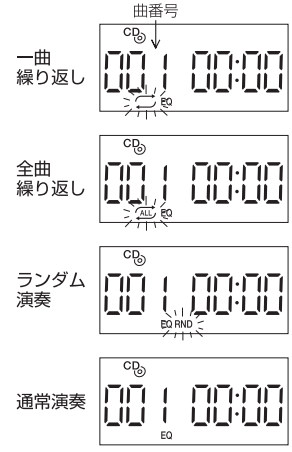
●CD演奏中でも操作できます。

ランダム演奏

全曲を無作為に演奏します。
"RND" が表示されます。

●CD演奏中でも操作できます。
その場合演奏中の曲が終了後、ランダム演奏に変わります。





iPod/iPhoneに取り込んだ音楽データを再生するには

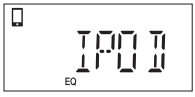
iPod/iPhoneと本体を接続する事により、iPod/iPhoneに取り込んだ音楽を本機で再生することができます。

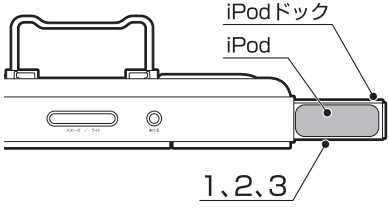
- あらかじめiPod/iPhoneに音楽を取り込んでおいてください。

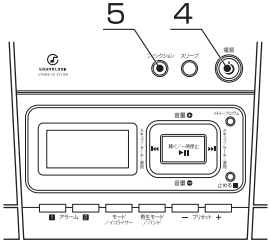
※iPodはApple Inc.の登録商標です。

1	本体を持ち上げながら、本体右下の「iPodドック」を引き出す。
2	iPodアダプター(iPod/iPhoneに付属または別売)をiPodドックにセットする。 ・お手持ちのiPod/iPhoneに合ったiPodアダプターをiPodドックにセットしてください。
3	iPod/iPhoneをiPodドックにセットする。 ・iPod/iPhoneをしっかり差し込んでください。
4	「電源」ボタンを押して電源を入れる。
5	「ファンクション」ボタンを押して、iPodモードに切り換える。 ・iPodモード時は“IPOD”(iPodがセットされている時)または“NO IPOD”(iPodがセットされていない時)と“ ”がディスプレイに表示されます。 ・自動的にiPodの演奏が始まります。

《ディスプレイ》







- 一時的に停止させたいときは「聴く/一時停止(▶II)」ボタンを押します。もう一度押すと演奏に戻ります。
- iPod/iPhone再生中はドックから抜かないでください。必ず電源を切ってから抜いてください。

曲の頭を探す(スキップ)

- 演奏中、または一時停止中に「スキップ/サーチ/選局(⏮)(⏭)」ボタンを押すと、前後の曲の頭出しができます。

「⏮」・・・・・演奏中の曲の頭に戻る。
(2回目以降は押すたびに前の曲の頭に戻る)
「⏭」・・・・・次の曲の頭に進む。

早送り・早戻しをする(サーチ)

- 早送り
  演奏中に「スキップ/サーチ/選局(⏭)」ボタンを押し続けると、その間早送りします。
- 早戻し
  演奏中に「スキップ/サーチ/選局(⏮)」ボタンを押し続けると、その間早戻しします。
- ボタンから指を離すと通常の演奏に戻ります。

リピート演奏

「再生モード/バンド」ボタンを押すごとに演奏機能が変わります。

1 1曲繰り返し → 2 全曲繰り返し → 3 通常演奏

押すたびに変わります

iPod/iPhone充電機能について

- ACアダプター使用時は、本機のiPodコネクターにiPod/iPhoneを接続する事で、全ての状態でiPod/iPhoneに充電することができます。（乾電池使用時は、充電されません。）またiPod/iPhone再生中でも充電されます。
- 「ファンクション」ボタンを押してモードを切り換えた時、iPod/iPhoneのバックライトが点灯する場合がありますが、異常ではありません。

本機で使用できるiPod/iPhoneについて（2010年9月現在）

iPod touch 第1世代
iPod touch 第2世代
iPod touch 第3世代
iPod nano 第1世代
iPod nano 第2世代
iPod nano 第3世代
iPod nano 第4世代
iPod nano 第5世代
iPod 第4世代
iPod 第5世代
iPod classic
iPod mini
iPhone 3G
iPhone 3GS
iPhone 4

※ご使用のiPod/iPhoneまたはソフトウェアのバージョンにより、正しく動作しない場合があります。
※最新のiPodソフトウェアのご使用をおすすめします。

ラジオを聴くには

1	「電源」ボタンを押す。
2	「ファンクション」ボタンを押してラジオモードに切り換える。 ・ラジオモード時は“ AM ”または“ FM ”と周波数がディスプレイに表示されます。
3	「再生モード/バンド」ボタンを押して、FMステレオ、FM、AMを選択する。 ・FMステレオ放送受信時は“ ((o)) ”がディスプレイに表示されます。

手動受信する場合

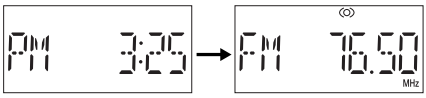
4	「スキップ/サーチ/選局(⏮)(⏭)」ボタンで聴きたい放送局に合わせる。

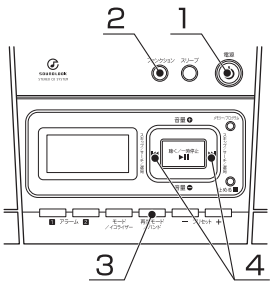
自動受信する場合

4	「スキップ/サーチ/選局(⏮)(⏭)」ボタンを長押しする。 オートチューニングになり、受信できる放送局を探します。
5	上記の操作を繰り返して、聴きたい放送局に合わせる。

- ラジオを切るには「電源」ボタンを押します。

《ディスプレイ》





プリセットの使いかた

お好みの放送局をAM10局、FM20局まで記憶させておき、簡単に呼びだすことができます。

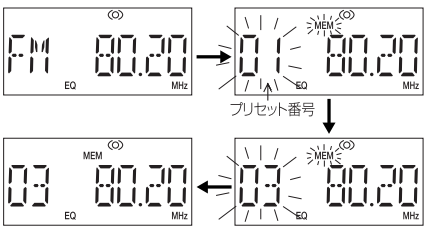
放送局を登録する

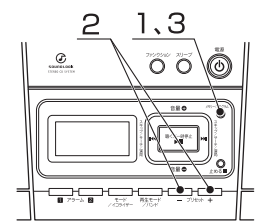
1	お好みの放送局を受信時に、「メモリー/プログラム」ボタンを押す。 “**MEM**”とプリセット番号“ 01 ”が点滅表示されます。 10秒間操作しないと、元の状態に戻ります。 再度「メモリー/プログラム」ボタンを押して操作してください。
2	「プリセット(−)(+)」ボタンを押し、登録するプリセット番号を選択する。
3	再度「メモリー/プログラム」ボタンを押し、確定させる。 **ご注意** 「メモリー/プログラム」ボタンを押し、確定しない限り記憶されません。記憶させる場合は必ず「メモリー/プログラム」ボタンを押してください。
4	他の放送局を登録するには、上記2〜3の操作を繰り返す。 新しい局を記憶させると、その番号に記憶されていた前の局は消えます。

登録した放送局を選択する

1	ラジオモード時に、「プリセット(−)(+)」ボタンを押し、お好みの放送局に合わせる。 ・プリセット番号と、プリセット番号に対応した放送局の周波数が表示されます。 ・“**MEM**”がディスプレイに表示されます。

《ディスプレイ》





オーストラリア・アメリカ・ヨーロッパで受信するには

本機は、日本/オーストラリア/アメリカ/ヨーロッパでラジオを受信することができます。出荷時は日本で受信できるよう設定されていますが、オーストラリア、アメリカ、ヨーロッパでラジオを受信する時は以下の操作で受信エリア設定を切り換えてください。

ご注意 **付属のACアダプターは100V専用です。**
海外では、それぞれの地域に合った電圧でご使用ください。
発火・事故の原因になります。

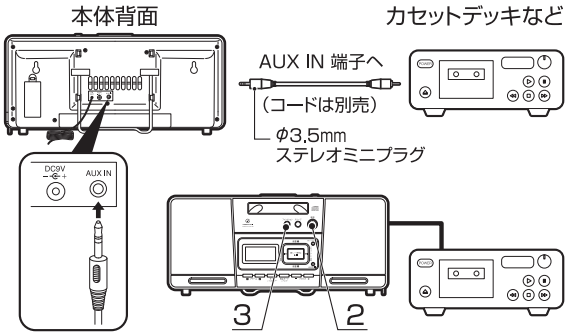
1	電源切の状態で「モード/イコライザー」ボタンをゆっくり3回押す。
2	「スキップ/サーチ/選局(⏮)(⏭)」ボタンを押し、JAP(日本)、AUS(オーストラリア)、USA(アメリカ)、EUP(ヨーロッパ)を選び、「スヌーズ/ライト」ボタンを押す。 約10秒間操作しないと、自動的に設定が保存され元の状態に戻ります。

受信エリア設定を切り換えると記憶されたプリセットが消去されます。

外部機器の音を聴くには

お手持ちの音響機器とつないで、本機をスピーカーとして使用することができます。

1	本体背面のAUX IN 端子とお手持ちの機器の出力端子を接続コード(別売)でつなぐ。
2	本機の「電源」ボタンを押して電源を入れる。
3	「ファンクション」ボタンを押して、AUXモードに切り換える。 AUXモード時は、“**AUX**”がディスプレイに表示されます。
4	お手持ちの機器の演奏をはじめる。



- お手持ちのオーディオ機器の出力が小さく、音がうまくきこえない場合があります。その時はそれぞれの音量で調節してください。
- 聴き終わったら、「電源」ボタンを押して電源を切ってください。

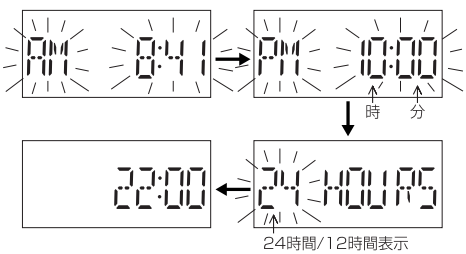
時計の合わせかた

- 約10秒間操作しないと、自動的に設定が保存され、初期状態に戻ります。

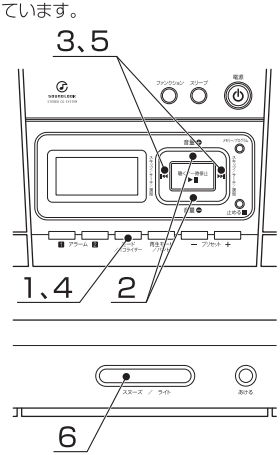
1	電源切の状態で「モード/イコライザー」ボタンを押す。 時計表示が点滅表示されます。
2	「音量(⊕)(⊖)」ボタンを押して“時”を設定する。 はやく進める(戻す)にはそれぞれのボタンを長押しします。
3	「スキップ/サーチ/選局(⏮)(⏭)」ボタンを押して“分”を設定する。 はやく進める(戻す)にはそれぞれのボタンを長押しします。
4	「モード/イコライザー」ボタンを押す。 “12”または“24”が点滅します。
5	「スキップ/サーチ/選局(⏮)(⏭)」ボタンを押して“24時間/12時間表示”を設定する。
6	「スヌーズ/ライト」ボタンを押して設定を保存する。

- 電源切の状態で、時計機能付のiPodをiPodドックにセットし、「スリープ」ボタンを押すと、iPodの設定時間が点滅し、再度「スリープ」ボタンを押すことで、iPodの時刻に同期させることもできます。

《ディスプレイ》



※上図は24時間表示の午後10:00に合わせた場合を表しています。



アラームの使いかた

設定した時刻にお好みの音源を鳴らすことができます。2つのアラーム時刻「アラーム1」「アラーム2」をセットできます（デュアルアラーム）。音源は、電子音（BUZZER）・ラジオ・CD・iPodの4種類から選べます。あらかじめ「時計の合わせかた」(→P.14)を参照して時刻を合わせてください。

アラーム時刻を設定する

約10秒間操作しないと、自動的に設定が保存され、初期状態に戻ります。

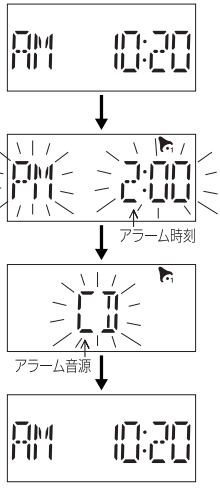
1	電源切の状態で、設定したい方の「アラーム」ボタン(アラーム1またはアラーム2)を長押しする。 アラーム時刻表示が点滅します。
2	「音量(⊕)(⊖)」ボタンを押して“時”を設定する。 はやく進める(戻す)にはそれぞれのボタンを長押しします。
3	「スキップ/サーチ/選局(⏮)(⏭)」ボタンを押して“分”を設定する。 はやく進める(戻す)にはそれぞれのボタンを長押しします。
4	再度同じ「アラーム」ボタン(アラーム1またはアラーム2)を押す。 アラーム音源(BUZZER/RADIO/CD/IPOD)が点滅します。
5	「スキップ/サーチ/選局(⏮)(⏭)」ボタンを押して、お好みのアラーム音源を選択する。 ・アラーム音源にラジオを選択している場合 あらかじめお好みの放送局に合わせておいてください。 ・アラーム音源にiPod/iPhoneを選択している場合 あらかじめ音楽データが入ったiPod/iPhoneをセットしておいてください。 ・アラーム音源にCDを選択している場合 あらかじめCDをセットしておいてください。 自動的に再生モードが“全曲繰り返し”になります。
6	「スヌーズ/ライト」ボタンを押して、設定を保存する。

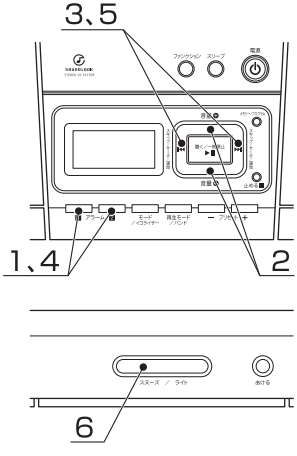
ご注意

- アラーム音源にiPod/CDを選んでいるとき、アラーム時刻にiPod/CDが本体に接続されていなければ、自動的に音源が電子音に切り換わります。

《ディスプレイ》

※右図はアラーム音源にCD、アラーム時刻を午後2:00に合わせた場合を表しています。



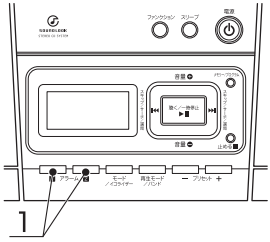


アラームをセットする

1 セットしたい方の「アラーム」ボタン(アラーム1またはアラーム2)を押して、ディスプレイに “ ” を表示させる。

《ディスプレイ》

- アラーム起動時は、“ ” が点滅します。
- アラームを止めるには、「アラーム」ボタンを押します。
- 音量の調節はできません。



電子音(BUZZER)の動作

最初に1分間鳴り続けた後AUTO SNOOZE機能が働き一時停止します。約9分間停止後、再び鳴り始めます。それを4回繰り返し5回目のアラーム後は翌日の同時刻まで停止します。
※音量の調節はできません。

ラジオ/CD/iPodの動作

徐々に音が大きくなります。60分間動作した後、翌日の同時刻まで停止します。
※アラームが鳴り始めてから、音量の調節をすることもできます。

アラームを解除する

1 アラームがセットされた状態で解除したい方の「アラーム」ボタン(アラーム1またはアラーム2ボタン)を押す。

- ディスプレイの “ ” が消灯します。

スヌーズ機能について

鳴っているアラームを一時的に停止させます。

電子音(BUZZER)の場合

- 鳴り始めの1分間に「スヌーズ/ライト」ボタンを押す。
  ディスプレイに「**SNOOZE**」が表示され一時的にアラームが停止します。
- 約9分間停止後、再び鳴り始めます。それを、アラームが起動してから50分後まで最大5回繰り返し、翌日の同時刻まで停止します。

ラジオ/CD/iPodの場合

- 「スヌーズ/ライト」ボタンを押す。
  ディスプレイに「**SNOOZE**」が表示され一時的にアラームが停止します。
- 約9分間停止後、再び鳴り始めます。それを、アラームが起動してから50分後まで最大5回繰り返し、翌日の同時刻まで停止します。

※スヌーズ機能を解除するには、スヌーズ起動時に起動している方の「アラーム」ボタン(アラーム1またはアラーム2)を押します。このとき、ディスプレイの “**SNOOZE**” が消灯します。

スリープ機能について

「スリープ」ボタンを押すと、設定した時間後に自動的に電源を切ることができます。
「スリープ」ボタンを押すごとに、以下のように設定できます。

15→30→45→60→90→120→（解除）→15

- スリープタイマー動作中、「スリープ」ボタンを1回押すと、残り時間を確認することができます。
- ディスプレイに“ Z^z ”が表示されます。

イコライザー機能について

電源入の状態で、「モード/イコライザー」ボタンを押すごとに、以下のようにイコライザー機能を切り換えることができます。ディスプレイに“EQ”が表示されます。

FLAT → ROCK → CLASSIC → POP → JAZZ → FLAT（解除）

※電源切の状態で「モード/イコライザー」ボタンをゆっくり4回押した後、「スキップ/サーチ/選局（⏮）（⏭）」ボタンでLOUDのON/OFFを切り換えることができます。LOUD ONにすると、小音時に低音と高音が強調されます。

ディスプレイバックライトについて

ACアダプター使用時

アラーム動作中以外の時に「スヌーズ/ライト」ボタンを押すと、バックライト点灯のON/OFFができます。またバックライトOFFに設定時でも、ボタン操作をすると一時的にバックライトが点灯し、約10秒後に自動的に消灯します。

乾電池使用時

アラーム動作中以外の時に「スヌーズ/ライト」ボタンを押すと、一時的にバックライトが点灯し、約10秒後に自動的に消灯します。

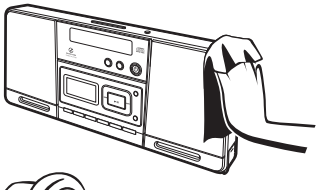
お手入れのしかた

本体のお手入れ

乾いた布でふいてください。
ひどいときは、水で布をしめらすか、薄めた中性洗剤を少し布につけ、よくしぼってふき、あとはからぶきをしてください。

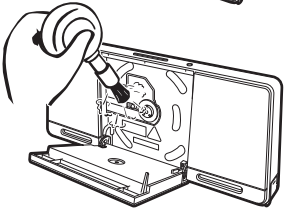
ご注意

ベンジンやアルコール、シンナーなどではふかないでください。
本体をいためる原因となります。



レンズのクリーニング

ごみやほこりがついた場合
市販のブロアーでレンズを2～3回吹き、ブロアー先端のブラシでごみをはき出します。最後にもう一度、ブロアーでレンズを吹いてください。
※レンズ部には指紋や汚れをつけないようご注意ください。



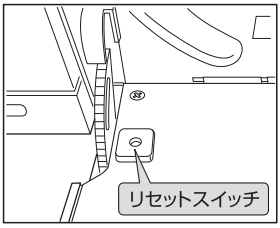
故障かな？と思われたときは

故障かな？と思われたときは以下の点をお調べください。
それでもなお異常があるときは、お買上げの販売店にご相談ください。

	症　状	チェックポイント	処置のしかた
共通部	電源が入らない。	乾電池は正しい方向で入っていますか。	乾電池の＋－を確かめてください。
		ACアダプターが抜けていませんか。	ACアダプターを確実に差し込んでください。
	ボタン操作をうけつけない。		「リセット」スイッチを押して初期状態にし、もう一度試してください。
CD部	CDの演奏が始まらない。 CDが入っているのに“NO DISC”と表示する。	乾電池が消耗していませんか。	乾電池を新しいものととりかえてください。
		CDディスクの表裏を間違えていませんか。	文字のある面を外側にしてください。
		レンズが汚れていませんか。	お手入れのしかたを参考にクリーニングしてください。
		レンズに霧や水滴がついていませんか。	CDを取り出してCDドアを開け、1時間程置いてください。
		CDディスクがひどく汚れていませんか。	汚れを落としてください。
		ファイナライズ処理(通常のCDプレイヤーで再生できるようにする処理)をされていないCD-R/CD-RWディスクは再生できません。	
		CD-R/CD-RWでは、ディスクや記憶に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。	ディスクを替えて試してください。
	CDの音が飛ぶ。	乾電池が消耗していませんか。	乾電池を新しいものととりかえてください。
		強い振動を与えていませんか。	振動を与えないでください。
		ディスクがひどく汚れていませんか。	汚れを落としてください。
		ディスクに大きな傷はありませんか。	ディスクを替えて試してください。
		CD-R/CD-RWでは、ディスクや記憶に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。	ディスクを替えて試してください。
iPod部	iPod/iPhoneの演奏が始まらない。“NO IPOD”と表示する。	iPod/iPhoneがしっかりとiPodコネクターに差し込まれていますか。	iPod/iPhoneをしっかりとiPodコネクターに差し込んでください。

リセットスイッチ

使用中、ボタン操作を受けつけない時や動作がおかしい時は「リセット」スイッチを押してください。
- 先の細いもので押してください。
- 「リセット」スイッチを押すと出荷時の初期状態になります。時刻設定、アラーム設定等はすべて消去されます。
- 電源入・切どちらの状態でもリセットできます。



仕様

受信周波数	FM：76.00～90.00MHz	電池持続時間 (アルカリ乾電池使用時)	ラジオ受信時　約18時間（JEITA） CD再生時　約3.4時間（JEITA） iPod/iPhone再生時　約22時間（※）
	AM：522～1629kHz		
アンテナ	FM：ワイヤーアンテナ	電源	2電源方式 ●AC100V 50-60Hz（付属ACアダプター使用時） ●電池 単3形アルカリ乾電池×6本（別売）
	AM：フェライトバーアンテナ内蔵		
スピーカー	7.7cm(8Ω)×2個	消費電力	15W
入力端子	AUX IN 端子×1	最大外形寸法	約335(W)×64(D)×150(H)mm
実用最大出力	3.0W＋3.0W(JEITA)	質量	約1.5kg
		付属品	ACアダプター×1、 取扱説明書×1、保証書×1

※iPod/iPhone再生時間は5割程度の音量で測定。

●ACアダプターSAD-9014仕様

入力	AC100V　50-60Hz　750mA	コード長	約1.7m
出力	DC9V　2.6A	プラグ形状	φ5.5mm　－ ⊖ ＋

※本機の仕様及び外観については、改良のため予告なく変更することがあります。

アフターサービスについて

1. 保証書

● 保証書は別途添付されています。
保証書はお買い上げの販売店で「販売店名・お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

2. 修理を依頼されるとき

● 保証期間中は
商品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。保証の記載内容により無料修理いたします。

● 保証期間が過ぎているときは
お買い上げの販売店にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

3. 補修用性能部品の保有期間

● ステレオCDシステムの補修用性能部品の保有期間は製造打切後6年です。
補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

4. アフターサービスについてご不明の場合

● アフターサービスについてご不明の場合には、お買い上げの販売店か、保証書に記載の小泉成器株式会社「サービスセンター」にお問い合わせください。

愛情点検

★長年ご使用の音響機器の点検を！

ご使用の際このようなことはありませんか

- ●電源コードやACアダプターが異常に熱い。
- ●電源コードに深いキズや変形がある。
- ●コゲくさい臭いがする。
- ●その他の異常、故障がある。

ご使用中止

このような症状の時は、故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントからACアダプターを抜いて必ず販売店にご相談ください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

お受けしましたお客様の個人情報は当社個人情報保護方針に基づき適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託をする場合及び法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行ないません。

〈利用目的〉
お受けしました個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせ及び修理対応のみを目的として使用させていただきます。
尚、この目的のために小泉成器株式会社及び関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

〈業務委託の場合〉
上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を実施させるとともに適切な管理・監督をいたします。

■お客様相談窓口
この商品に関するご意見・ご質問については下記へお寄せください。

小泉成器株式会社　本社　〒541-0051　大阪市中央区備後町3丁目3番7号
ナビダイヤル（全国共通番号）　TEL. 0570(07)5555
TEL.06(6262)3561
FAX.06(6264)5170

■サービスセンター

・修理センター
この商品の修理に関するお問い合せについては下記へお寄せください。

東日本修理センター　〒344-0127　埼玉県春日部市水角1190
西日本修理センター　〒559-0033　大阪市住之江区南港中1丁目3番98号
ナビダイヤル（全国共通番号）　TEL. 0570(05)8888

・部品センター
この商品の部品に関するお問い合せについては下記へお寄せください。

部品センター　〒559-0033　大阪市住之江区南港中1丁目3番98号
ナビダイヤル（全国共通番号）　TEL. 0570(00)3211

お客様相談窓口
／サービスセンターの受付時間
平日9：00～17：30
（土・日・祝日・夏季休暇・年末年始を除く）

2010年12月現在（所在地、電話番号などについては変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。）